第191号
昭和41年3月1日

広報おだわら

発行所
小田原市役所
小田原市中1〜900
編集兼発行人
垣内弘一
株式会社 文堂印刷

全世帯配布

心配ごと相談
3月
8 15.22日
午前9時〜午後3時
市立青少年補導所

昭和29年10月15日
第3種郵便物認可
毎月1日発行
定価1部3円

◇定例日（3日）
◇家族計画普及週間（3日〜31日）

小田原市の推計人口
人口 144,576人
男 71,606人
女 72,970人
世帯 34,059世帯
前月との比較
人口 214人
男 141人
女 73人
世帯 51世帯

3月の広報こよみ

請求、届け出は新住所で
戸籍、住民票の謄抄本など
住居表示実施後
完成急ぐ市営住宅
入居は三月から四月にかけて
農地の報償金
防火、避難の計画を
これからは火災シーズン
廃車届けはすぐに
原動機付自転車など
鈴木通男氏が受彰
一職業者として
市民劇場第8回公演
文楽

請求、届け出は新住所で

戸籍、住民票の謄抄本など

住居表示実施後

ご承知のように四月一日から、国鉄東海道線以南、早川の河川から東側および山王川の市街地域、住居表示実施が実施され、現在の城、栄町、中町、浜町、本町、南町とそれぞれ変更します。町名が、や住民票の謄抄本、あるいは出生、婚姻等の届け出、住民登録の転入、転居届などをされるときは次のことに注意してください。

印鑑証明、住民票謄抄本の場合

しかし、戸籍謄抄本の場合は、所有者の住所変更の場合ありますが、五年ごとの書換えとなります。

四月一日から、国鉄の西側、東側、田中二丁目、鍛冶町、中里、鍛冶町、田中二丁目の一部、住民登録、印鑑登録の届出は、戸籍、住民票の謄抄本の場合は、十分注意してください。

実施地域内支所での取り扱い

以上の関係町等の場合ありますが、いつの関係町等の場合ありますが、これは戸籍、国税、年金等の変更の関係もあるためです。

この変更の関係も新住所でしなければなりません。

住所変更手続きに伴う無料証明書

四月一日の実施以後に関係官署、住民票謄抄本、印鑑証明等を求める場合は、新住所で手続きを願います。

3月31日まで特別給付金

—の特別給付金

政府は、昭和三八年三月三一日、臨時給付金（昭和三八年度）を給付しました。

特別給付金を受けられる資格のあるもの

昭和三年三月三日以後に公務員であったもの、または、現在公務員であるもの。

その他、恩給法、国家公務員法、地方公務員法、公共企業体等職員法、公共企業体等職員特例法、地方公務員等共済組合法、国家公務員等共済組合法、地方公務員等共済組合法、地方公務員等共済組合法、地方

学年末がいちばん危険
少年の非行防止につとめましょう

近くの新聞、テレビ、ラジオには、戦争、騒乱などのこわい話ばかり聞こえてきます。こうした世の中ですから、学校でも、家庭でも、子どもたちの生活指導が大変かかりきりになりがちです。しかし、学校や家庭がこうした状態であればあるほど、子どもたちの生活指導が大変かかりきりになり、解放感の強いこの学年末がいちばん危険なときです。

学校と家庭が力をあわせて、子どもたちの生活指導をしっかりやりましょう。

非行の芽は早いうちに摘みとろう

子どもの不良化、非行化防止のために、なんどいっても足りないのは家庭のあたたかな目配りです。

どこの家でもそうだと思いますが、お出かけ先で、「つめのあかでもせんじて飲ませたい」などと言ったことがありませんか。

「つめのあかでもせんじて飲ませる」とは、つまり、子どもたちの生活態度がどうしても気にかかってしかたがないときに、ちょっとでもよくなってほしいと願う親心のあらわれです。

子どもたちの生活態度がどうしてもよくなってほしいと願う親心のあらわれなら、少年を立ち直らせるためのあたたかな目配りがどうしてもいるのではないでしょうか。

深い関心と暖かい愛情を

少年を全面的に深い愛でもってわりのみんなが、少年を立ち直らせるためのあたたかな目配りがどうしてもいるのではないでしょうか。

「何のことはない、眼の前のことばかりで、ものごとを見ようとしない」ことは、無理に乗ろうとしてもうまくいきません。

ご家庭のみなさん、学校の先生方、職場のみなさん、どうか年末年始の年がかた長年寄りつつやってきたいです。

おりますので、ご利用ください。

○問合せ先　小田原警職員室（電話小田原2六三一）

配給米相談所をご利用ください

米穀配送問屋小田原協同組合員会で、小田原市配給米相談所を設置しました。不良品、不足分などなどはこちらに申し出ください。

○場所　小田原市内の各問屋

○期間　三月一日（一〇二一）間（毎日曜日）

○時間　午前八時～午後五時

○相談内容　電話番号（六三一二）

○相談員　小田原市内の各問屋

老人ホームのご案内

快適な施設で楽しく過ごそう

市立敬寿園入所者人員があり、在所月のクリスマスには、日又高齢の方々に、楽しい合唱や踊りを多くのうち、一年間、現在二十名の男女入所致等が生活指導されています。

敬寿園は、現在年七三一名の入所致等が生活指導されています。

敬寿園は、現在年七三一名の入所致等が生活指導されています。

敬寿園は、現在年七三一名の

にぎわった梅まつり

城址公園や曾我梅林で

十二月末、寒さの厳しい時期にもかかわらず、小田原観光協会（会長田辺郁郎氏）の呼びかけで、梅の開花期にさきそろえ、観光客誘致と、小田原の観光開発を目的として、去る二月十日から十一日の日曜日にかけて、城址公園と曾我梅林で、「にぎわった梅まつり」を開催した。

梅の開花は、去る二月六日、日経社公開野外劇場、小田原城址公園、曾我梅林、根府川、真鶴、湯河原などの梅の開花状況を調査、（会長小田原市長）の人たちから出席された関係者の会議で、開花状況、交通、宿泊、観光施設、観光コースなどの説明があり、また、十二日に、小田原観光協会（会長小田原市長）の会議において、観光客誘致、観光コースの開発、観光施設の整備、観光宣伝、観光客の接遇などについて、関係者の意見を聞き、また、十二日の夜、小田原市長、観光協会長、観光関係者、観光コース関係者、観光施設関係者、観光宣伝関係者、観光客の接遇

私たちの学校生活

その23 下府中小学校

40名に市長賞

～赤ちゃんコンクール～

表彰される赤ちゃんとそのおかあさん

なかなかなかなか、昨年三月の卒業生が、ぞろぞろと、中学校へ進学しました。

四十六年度は、お父さんも、お母さんも、みなさんが、下府中小学校の卒業生だったという、三代、四代、五代、六代、七代、八代、九代、十代と、ずっと、下府中小学校の卒業生が、ずらっと、ならんでいる、ということになります。

昭和四十年度小田原市赤ちゃんコンクールの表彰式が、市役所前で、去る二月十日、行なわれました。市長賞を受けた、四十名の赤ちゃんは、四月一日、市役所で、表彰されます。

今、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百人分のコンクール審査の中から選ばれた優秀賞受賞者

なお、優秀賞は、赤ちゃん伝説の

○市長賞（第1名）　石川守　（二宮）
○内閣総理大臣賞（小田原）　谷翼　（国府津）
○小田原市長賞　（鴨宮）　小林市二　（小田原）
○小田原市議会議長賞　（鴨宮）　小林市二　（小田原）
○小田原市教育委員会賞　（多古）　小林市二　（小田原）
○小田原市議会議長賞　（鴨宮）　小田原市二　（小田原）
○小田原市教育委員会賞　（鴨宮）　小田原